

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事業名	保険給付事業	コード	担当課	保険課 保険医療係
		02-01-07-02	担当者	末長 章彦
事業実施期間	平成17年度～		電話	64-1819 (内122)
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれる まちづくり		
	中項目	やさしさあふれる まちづくり		
	小項目	保険給付(国保)		
	施策	保険事業の推進		

事業について	
目的	医療供給を充実し、整備していく
対象(誰のために)	備前市国保加入者
内容	医療の適正な給付、高額療養費、出産育児一時金、葬祭費を支給する。

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
療養諸費	138,326 件		
高額療養費	368 件		
出産育児一時金	42 件		
葬祭費	320 件		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	3,920,850	国庫補助金	2,528,252	直接事業費		国庫補助金	
	人件費	15,745	受益者負担	1,197,872	人件費		受益者負担	
	合計	3,936,595	一般財源等	210,471	合計		一般財源等	

必要人員	2.65 人		
結果指標名	1件当たり的高額療養費支給額		
結果指標量	368 件		
対前年比	—	0.00%	#DIV/0!
事業費	257,773,430 円		
単位当たりコスト①	700,471 円		
結果指標名	1件当たりの療給支給額		
結果指標量	138,326 件		
対前年比	—	0.00%	#DIV/0!
事業費	2,590,432,173 円		
単位当たりコスト②	18,727 円	#DIV/0!	#DIV/0!

事業の成果			
成果指標名	レセプト1件当たり医療費	式又は説明	国保一般・国保退職・老人保健の1医療機関・薬局の1月医療費の平均
	17年度		
成果指標量	30,973.9円	0件	0件
対前年比	—	0.00%	#DIV/0!
到達目標値	30,000円	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	療養費等支給事務については迅速に適正にできている。一時金の資格審査を徹底し正確、迅速に支給している。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
	市の関与の妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	加入者増加に比例し医療費も毎年大幅に増加している。一人当たり医療費の増加を抑制するために、保健事業の充実を図るとともに、加入者に備前市国保の現状を広報等でお知らせする必要があります。また、滞納世帯には納付相談を促し、療養費等の支給時に保険税の充当を確認してもらうよう努める。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	現状時点では保険税滞納者の把握が完全ではないので納付相談漏れや充当漏れがある。
	成果向上の可能性	
市民参画度		

総合評価		評価区分
コメント	療養費等の支給、一時金の支給事務の適正な事務処理はなされているが、それに伴い保険税の完納世帯と滞納世帯との公平性を保たなければならない。関連部署との連携をとり滞納世帯には計画的に保険税を納めてもらうよう努める。	<A~E> B

今後の方向性			
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	350件	結果指標量②	130,000件
目標値 成果指標量	30,000円		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	国民健康保険制度について、機会ある毎にパンフの配布や広報誌等で周知する	随時	制度を知ってもらうことにより、より良い医療の給付や療養費等の申請の迅速化が見込まれる。
有効性	保険税滞納者の把握に努める。	随時	保険税への充当により滞納額を計画的に少なくしていく。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。